プチ指導案 チーム四小

青梅第四小学校
授業改善
6年

11月7日（金）4校時

国語『「永遠のごみ」プラスチック』①

本時のねらい

〇文章構成を捉え、筆者の主張を想像する。

本時のこだわり　普段の生活、身近な話題、他教科との関連など、たくさん考えさせたい！！

展開

学習活動	指導・支援（〇）　評価（☆）
1　身の回りに多くのプラスチック製品があることを知る。 C：私たちが豊かに生活する上でなくてはならないものです。	家：ペットボトル、食品トレー、ラップフィルム、洗濯ばさみ、ハンガー、リモコン、ゲームのコントローラー 学校：筆箱、定規、下敷き、ファイル、クリアフォルダー、水筒のキャップ部分、給食のトレー 外や街：自動車のバンパー、自転車のペダル
2　題名『「永遠のごみ」プラスチック』を知り、意見交流する。 C：生き物が間違えて食べ、命を落とすことがあったからです。 C：環境も破壊してしまうことがあります。 T：生活を豊かにするとごみ（環境破壊・健康被害）は正反対の考えです。筆者は何をみなさんに伝えたいのでしょう？**【読みたいを引き出す発問】**	〇題名「永遠のごみ」と「生活を豊かにするもの」を比較しながら筆者の考えに迫っていく。 〇道徳「クジラとプラスチック」で海にあふれるプラスチックごみも知ったこともヒントにする。 〇「ごみ」の言葉の前に『永遠』とつくことにも焦点を当て考える。
【展開 1】 3　段落番号を振りながら本文を読む。 **【筆者の主張を抜いた全文プリント・しかけ】** T：筆者の考え（主張）は分かりましたか？ C：よく分かりません…主張がありません。	めあて　筆者の主張を探ろう 〇本文に主張がないことに気付いた児童の発言をひろい、全体で共有する。
4　グループごとに段落を読み、大事な一文を選ぶ。**【共有化・ペア→グループ】**	〇分担して本論から大事な一文を選ぶ。
【展開 2】 5　筆者の主張に迫っていく。 T：みなさんが筆者だとしたらどんな主張を考えますか？ C：きっとプラスチックごみが世界にあふれているから、どうにかしたいと訴えると思う。 **【共有化・ペア→全体】**	〇グループで話し合い、本文の流れから筆者の主張を想像する。 ※筆者の主張は本時では発表しません。
6　振り返り T：「永遠のごみ」プラスチックと付けた題名は適切ですか？その理由も教えてください。	☆「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。C(1)カ【思判表】 （ノート・発言・話し合い）